

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス わくわく・就労準備型放課後等デイサービスさんぽ		
○保護者評価実施期間	2025年1月17日 ～ 2025年2月1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 4 名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2025年1月17日 ～ 2025年2月1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 1 5 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和2年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児や保護者の思いに沿った支援ができるように、5領域を取り入れ幅の広い療育、訓練を行い、個別支援、集団活動支援を行っている	アセスメントをきちんと行うことで、一人一人のニーズを理解し支援を行う。モニタリング時には職員の意見も聞きながら事業所が同じ方向を見て支援を行っている	利用児全員が主役になる機会を設け発表し、保護者や地域の人に見ていただく機会を作り「好き、できる」を伸ばしていく。
2	就労に向けた支援を行っている事業所は、金銭管理、買い物、時間の確認、計算、漢字、就労体験等をおこなっている。 また、集団の中での人との関り等も行っている	計画的におあかねの使い方や金銭管理の仕方、買物の療育を行っている。	実習体験を行い、大人の環境の中での過ごし方、働くということを学んだり、金銭管理ができるように買い物体験を行う
3	、個人の思いにあった療育の取り組み	日々の療育、訓練等に取り組みながら定期的にモニタリングを行い内容の検討を行い必要に応じて変更する。	職員のスキルアップ、より細かなアセスメントを行い個人の特性を知る

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のある地域の方との交流がない。	事業所のある地域のお方との交流がないため、利用されている子供たちのことを理解していただく機会が無い。災害時などに子供たちのことを理解していただいているとよいと考えます。	事業所のイベントに地域の方を招待し交流を図る。
2	日実の療育に取り組める時間が短い	高学年のため下校時間が短い	長期休暇、休校日に特化した療育を行う
3	地域、学校、幼保等との交流がない	他の事業所等と関係がまだできていない	事業所のイベント内容を検討する